

**製品名: MerTK ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13825**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MERTK
別名	MERTK; MER; Tyrosine-protein kinase Mer; Proto-oncogene c-Mer; Receptor tyrosine kinase MerTK
遺伝子 ID	10461.0
SwissProt ID	Q12866
免疫原	抗血清はヒト MERTK 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 10-59

**背景**

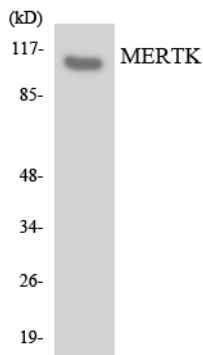
この遺伝子は MER/AXL/TYRO3 受容体キナーゼファミリーに属し、2つのフィブロネクチン III 型ドメイン、2つの Ig 様 C2 型 (免疫

グロブリン様) ドメイン、および1つのチロシンキナーゼドメインを持つ膜貫通タンパク質をコードしています。この遺伝子の変異は、網膜色素上皮 (RPE) 貪食経路の破綻および常染色体劣性網膜色素変性症 (RP) の発症と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性:  $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。、疾患: MERTK の欠陥は網膜色素変性症 (RP) [MIM:268000]の原因です。RP は網膜光受容細胞の変性を引き起こします。患者は典型的には夜間視力低下と中周辺視野の喪失を呈します。病状が進行するにつれて、遠方周辺視野が失われ、最終的には中心視野も失われます。、機能: フィロウイルス感染症の場合、細胞侵入因子として機能するようです。、オンライン情報: Retina International's Scientific Newsletter,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンキナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンキナーゼファミリー。AXL/UFO サブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、類似性: 2つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。、類似性: 2つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、組織特異性: 正常な B リンパ球および T リンパ球では発現しませんが、多くの腫瘍性 B 細胞株および T 細胞株で発現します。、

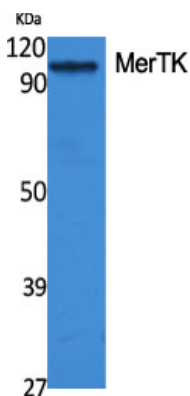
## 研究分野

細胞生物学

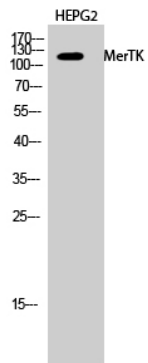
## 画像データ



MERTK 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MerTK ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



MerTK ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた HEPG2 細胞のウェスタンブロット解析